

キャリア支援通信

～架け橋～

第2号

長良特別支援学校
キャリア支援部
令和7年7月4日

高等部 キャリア実習（インターンシップ）

6月24日～26日の3日間実習を行いました。実習先は日本赤十字社岐阜県支部でした。実習内容は、1日目は会計システム入力、2日目は会議資料作成、3日目は講習機材の清掃でした。

1日目の最初に、昨年度の日本赤十字社の活動内容の動画を見ました。実習前日の大雨で飛騨の方に災害派遣を行ったことも新聞記事からお聞きしました。その後、備蓄倉庫を見学したり、緊急車両を見せていただいたり、避難場所としての役割を教えていただいたりしました。



今回の実習を通して、社会人として働く姿のイメージが明確になりました。システムの入力では、データの入力を慎重に行うことの大切さを知り、仕事の中で、分からないことやミスをした点をあいまいにせず、周囲の方にその都度聞いたり報告したりすることも学びました。今後の学校生活に生かしていきたいです。

（高等部2年 谷口 穂乃佳）



高等部2・3組 校内作業実習



6月17日～19日の3日間、SANEI株式会社の製品をお借りして、校内作業学習を行いました。作業内容は、取扱説明書の封入作業と部品の数え作業です。3年生は昨年度と同じ作業のためか要領が分かっており、見通しをもって行うことができました。1年生の数え作業では、はかりを使って50個ずつ数えていきましたが、「できました。」「〇個多いので減らしてください。」などと報告しながら集中して行うことができました。

3日間で封入作業2000セット、数え5000個すべてをやりきることができ、終わった後には笑顔がみられました。



高等部 キャリア実習（施設体験）

6月25日～27日の3日間、陽百合園で「おしぼり折り」の作業実習に取り組みました。おしぼりの汚れをチェックし、裏表を確認した後にしっかりと布を伸ばして折り目を付ける作業です。

昨年度も同じ作業をしたということもあり、作業の流れを理解して1枚1枚丁寧に折り進めることができました。おしぼりの汚れを見付けると、職員の方に報告したり、汚れかどうか迷う場合には「これはどうしますか？」というように尋ねたりする姿がありました。また、机の上のおしぼりを全て折ると、別の部屋から次のおしぼりを取りに行くことも、自分から行うことができました。

3日間、いつもとは異なる環境と時間の流れの中で過ごしましたが、自分で考え自分から動く姿を十分評価していただき、実りの多い実習となりました。

（高等部3年2組生徒）



卒業生の進路先Ⅰ

就労移行支援事業所 ウェルビー岐阜駅前センター

就労移行支援とは、障害者総合支援法に定められた障害福祉サービスの一つです。企業での一般就労を希望する、18歳以上65歳未満の障がいや難病のある方を対象に、24ヶ月の期間、利用することが可能です。働くために必要な知識とスキル向上のための職業訓練や適性に合った求職活動、職場への定着支援まで、一貫した支援を行います。

ウェルビーでは、一般のオフィスを再現したセンターにて、ビジネスマナーやコミュニケーション、パソコンや軽作業等、必要な知識と能力向上のための訓練を行い、企業で生きる力を身に付けられるような支援を行っています。

ウェルビーは全国に展開している会社で、112センター（2024年）を擁しています。2023年度の就職実績は、1,058名で、就職先職種は事務職が半数です。

利用料金は、障害者総合支援法に基づき、利用料金の1割負担となります。本人とその配偶者の所得に応じて利用者負担上限金額が適応されるので、自己負担なしで利用できる場合が多く、最高でも負担上限月額37,200円です。

（出典 2024年度ウェルビー株式会社パンフレット）